

岡山県における受検～受診～受療に至る効果検証と質向上のための

相談員・肝炎医療コーディネーターのあり方に関する研究

研究分担者 池田 房雄 岡山大学病院消化器内科

研究要旨

【背景】岡山県では肝炎医療コーディネーターの対象を愛育委員に広げ、肝炎啓発に協力してもらうことを計画した。【方法】2018年度は愛育委員を対象に肝炎啓発や肝炎検診受検の必要性を説明、肝炎ウイルス検査を同時に実施した。検査陽性者には直接電話連絡し、肝臓専門機関の受診勧奨を行った。【結果】2018年と2019年に県内3市町計6回の肝臓病教室を開催した。研修参加者351名のうち肝炎ウイルス検査を270人が受検した。7名でHCV抗体陽性と判明し、6名は1ヵ月以内に肝臓専門医療機関を受診し、1人は抗ウイルス治療を予定している。【結語】愛育委員対象肝臓病教室で肝炎啓発や肝炎検診の必要性の認知が高まった。愛育委員対象の肝臓病教室開催は地域住民に近い肝炎医療コーディネーターの養成となり、肝炎ウイルス検査受検率100%を目指すためには大変有用である。

A. 研究目的

岡山県では2011年からの5年間で医療機関や市町村の担当者、職域の健康管理担当者を対象として約300人の地域肝炎対策サポーターを養成した。

平成29年4月厚生労働省通知の肝炎医療コーディネーターの養成及び活用において、医療機関や行政機関以外にも肝炎医療コーディネーターを配置することが望ましいとされている。

そこで、岡山県市町村の肝炎ウイルス検査の受検率を高める方策として地域住民に近い存在の愛育委員に肝炎医療コーディネーターの対象を広げ、肝炎啓発に協力してもらうことを計画した。

B. 研究方法

2017年度、岡山県愛育委員理事会で肝炎啓発事業への協力依頼を実施。2018年と2019年に愛育委員を対象とした肝臓病研修会を開催し、肝炎普及啓発や肝炎検診受検勧奨の必要性を説明した。また、肝炎ウイルス検査を同時に実施した。検査陽性者には直接電話連絡し、肝臓専門機関の受診勧奨を行った。

（倫理面への配慮）

当院倫理審査承認済

C. 研究結果

2018年と2019年に県内の3つの市町の地域愛育委員研修会で計6回の肝臓病教室を開催した。研修参加者は351名。また、肝臓病教室開催時に肝炎ウイルス検査を同時に

行い、270人、77%が受検した。検査陽性者はHCV抗体陽性者が7名、HBs抗原陽性者はいなかった。HCV抗体陽性者のうち6名は陽性結果が判明して1ヵ月以内に肝臓専門医療機関を受診し、1人は抗ウイルス治療を予定している。

	市	開催	参加者	検査受検	HBs抗原	HCV抗体
1	美作市	2018/5	98	76	0	1
2	吉備中央町	2018/11	82	71	0	1
3	吉備中央町	2018/12	81	56	0	4
4	瀬戸内市	2018/12	35	31	0	0
5	吉備中央町	2019/1	26	20	0	0
6	吉備中央町	2019/3	29	16	0	1
			351	270	0	7

2019年度に地域住民の肝炎ウイルス検査受検の有無を愛育委員に公開し、受検勧奨してもらうことで愛育委員の肝炎医療コーディネーターとしての効果を検証する臨床研究を計画したが、地域住民の肝炎ウイルス検査受検の有無を愛育委員に公開することが個人情報取り扱い上問題あり、調整中である。

D. 考察

愛育委員は自分たちの市町村を健康で明るく住み良い地域にするため行政と協力しながら活動している健康づくりボランティアの全国組織であり、県知事から委嘱されている。赤ちゃん訪問など母子保健委員の役割や禁煙推進の他に、生活習慣病予防の推進として健診受検勧奨、健診の手伝い、がん検診の勧誘、感染症予防のための普及啓発などが役割である。県内の愛育委員は1.8万人、住民100人あたり1人存在する。愛育委員を対象とした肝臓病教室を開催することで肝炎普及啓発や肝炎検診受検勧奨の必要性の認知が高まった。

E. 結論

愛育委員対象の肝臓病教室開催は地域住民に近い肝炎医療コーディネーターの養成となり、肝炎ウイルス検査受検率100%を目

指すためには大変有用である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- (1) 難波志穂子, 池田房雄ほか 職域での出張肝臓病教室と同時開催の肝炎検診の意義 肝臓 2017;58:304-306.
- (2) 難波志穂子, 池田房雄ほか 岡山県地域肝炎対策サポーター育成後の活動実態調査—肝炎医療コーディネーター活動と部署異動— 肝臓 2018;59:625-632.

2. 学会発表

- (1) 池田房雄, 難波志穂子ほか B型、C型肝炎患者拾い上げの取り組み就労者の肝炎検診受検率向上と検査陽性者の徹底した肝臓専門機関受診を目指した職域へ出張しての肝臓病教室と肝炎検診同時開催の試み 肝臓学会大会 2017
- (2) 難波志穂子, 池田房雄ほか 地域肝炎対策サポーターのニーズから肝疾患診療連携拠点病院としての役割の検討 肝臓学会大会 2017
- (3) 山下美穂, 難波志穂子, 池田房雄 肝疾患診療連携拠点病院の役割の認知度調査 日本医療マネジメント学会 2018

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得なし
2. 実用新案登録なし
3. その他なし